

# EnvSensor 組立説明書 V1.0

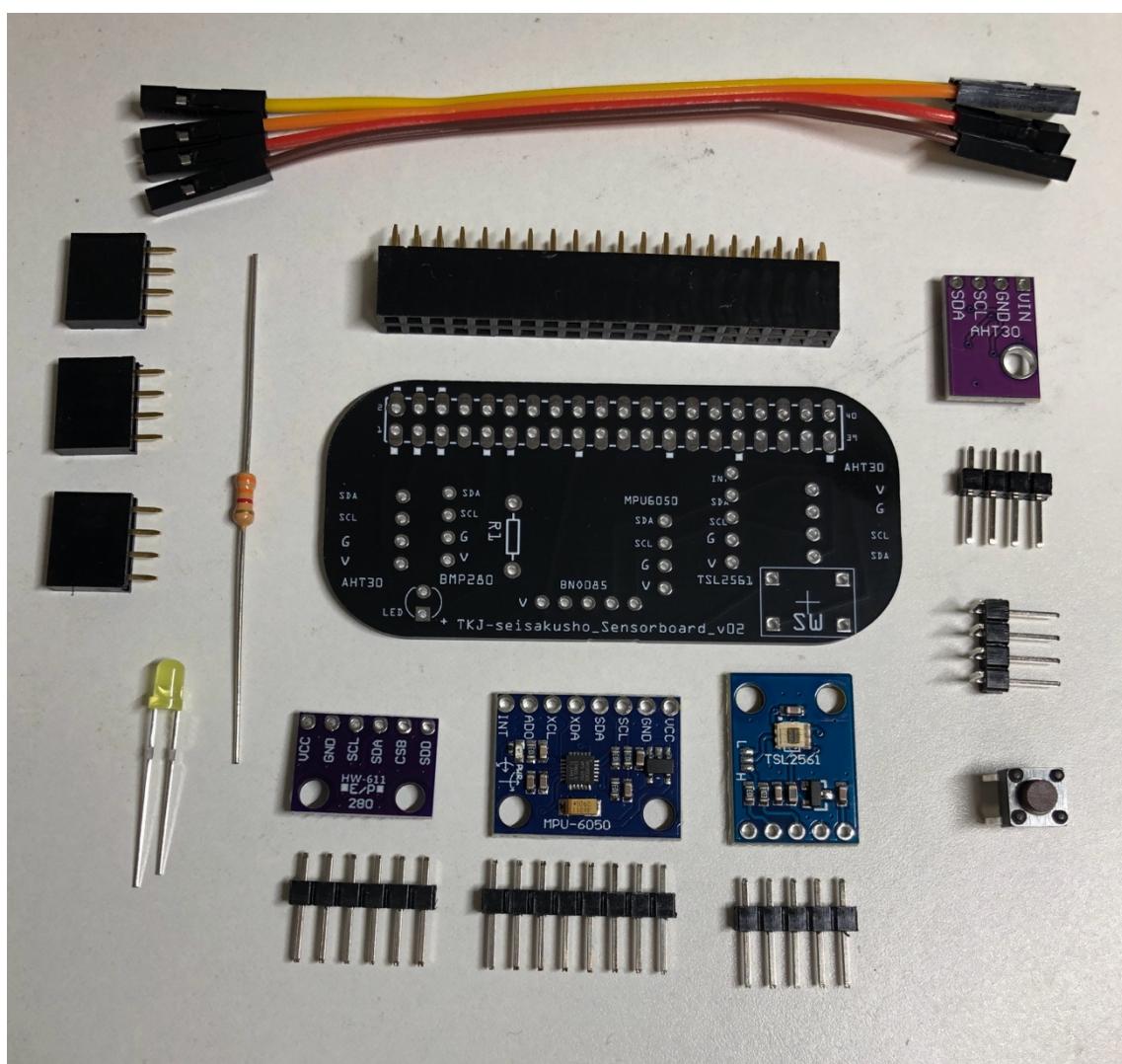
\*環境測定基板

2026/2/4

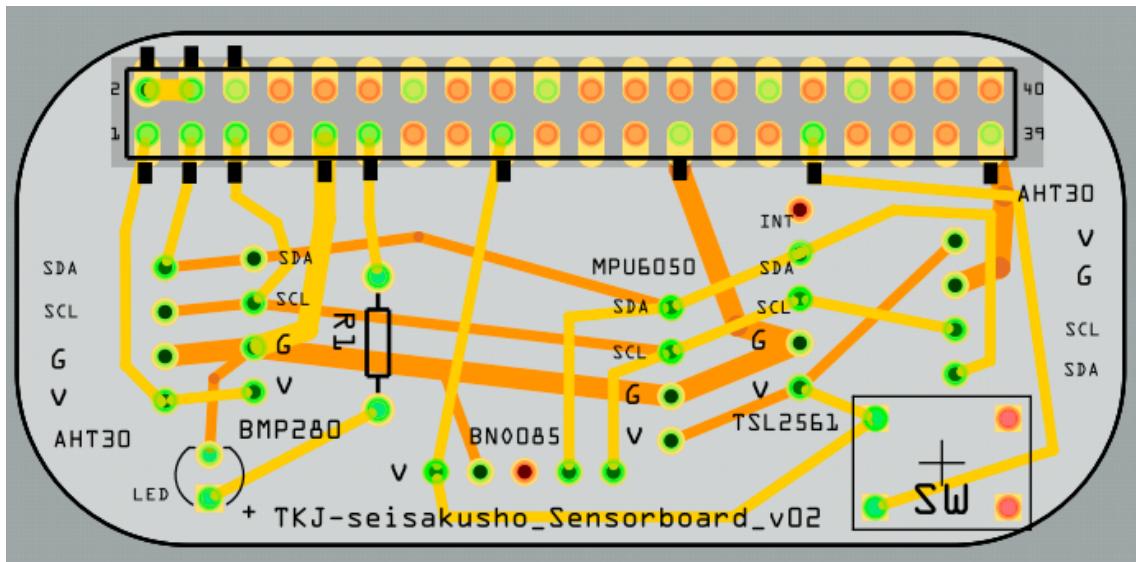
## 1. 部品一式

- (ア) 基板 1 枚
- (イ) 抵抗  $3.3k\Omega - 6.8k\Omega$  1 個
- (ウ) 表示用 LED 1 個
- (エ) タクトスイッチ 1 個
- (オ) AHT30 1 個
- (カ) BMP280 1 個
- (キ) MPU6050 1 個
- (ク) TSL2561 1 個
- (ケ) ピンソケット 4p 3 個
- (コ) ピンソケット 40p 1 個
- (サ) 4p ケーブル 1 個

部品の色指定はできません



## 2. 基板パターン

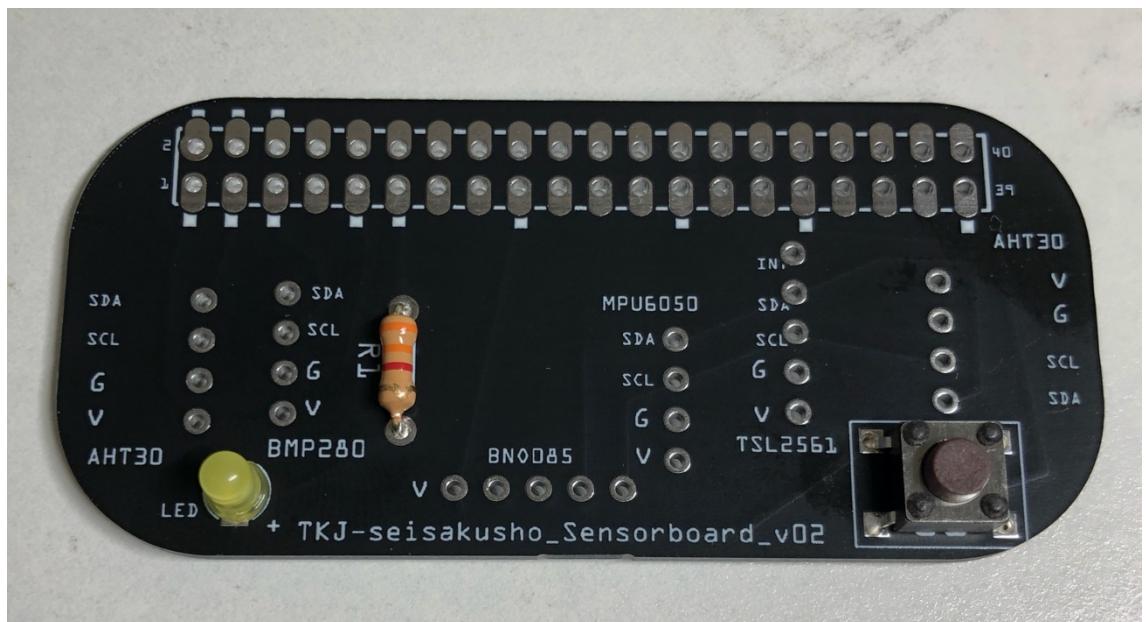


## 3. 組立注意事項

- (ア) 基本的には背の低い部品から取り付けると組み立てやすいです。
- ① 例 抵抗→LED→タクスイッチ→ピンソケット 4p→40p ピンソケット
- (イ) LED は極性があります。基板のパターンの四角い方に LED の足の長い方 (プラス)を取り付けてください。

#### 4. 組み立て手順

##### (ア) 背の低い部品(抵抗)から取り付け



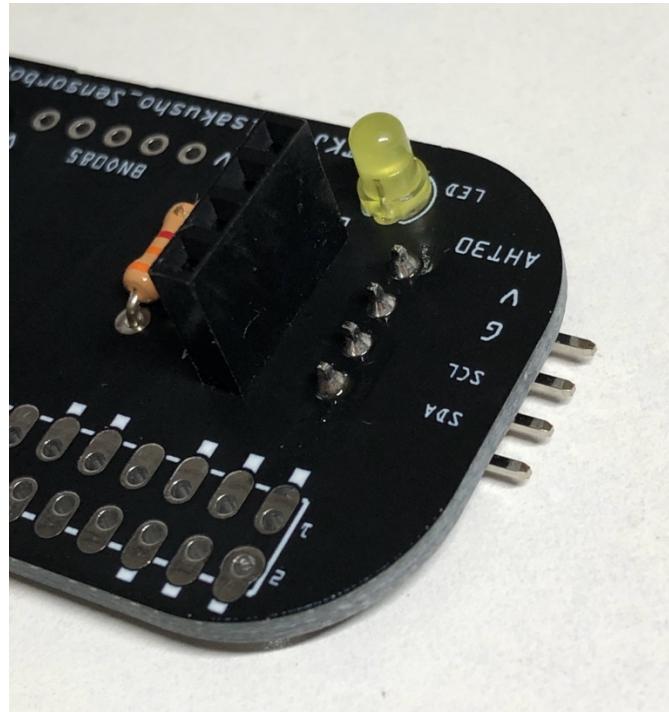
(イ) ピンソケット 4p (センサー直付けする場合は不要です。)



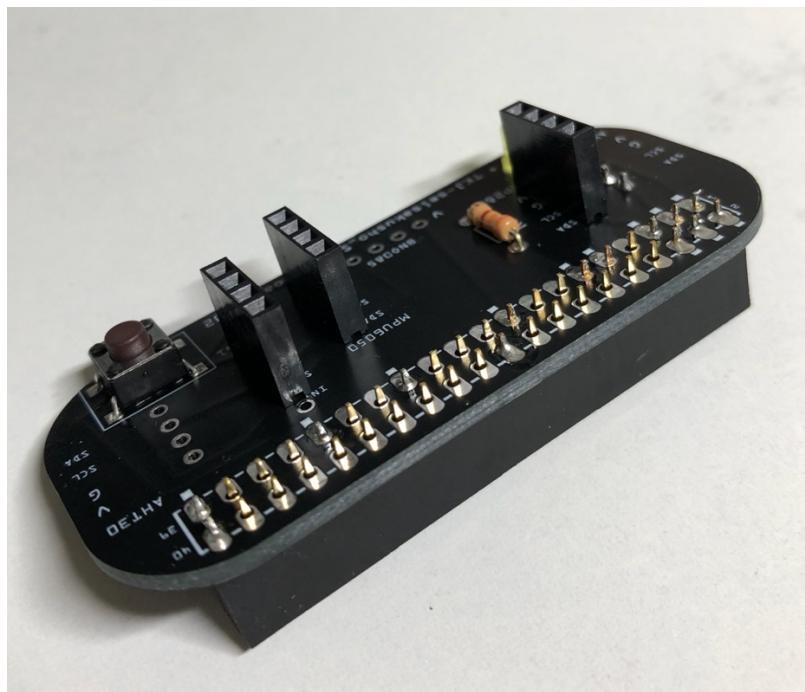
TSL のみ基板に INT の穴が空いているので、間違わないようにして下さい。

(ウ) AHT30 用ピンヘッダー

- ① 基板下につけると端子名が見える。(基板上につけてもOK)
- ② 基板反対側にも同じ端子があり、どちらでもOK

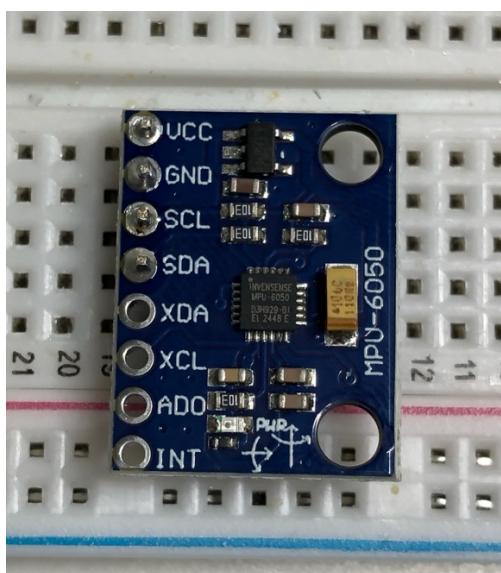
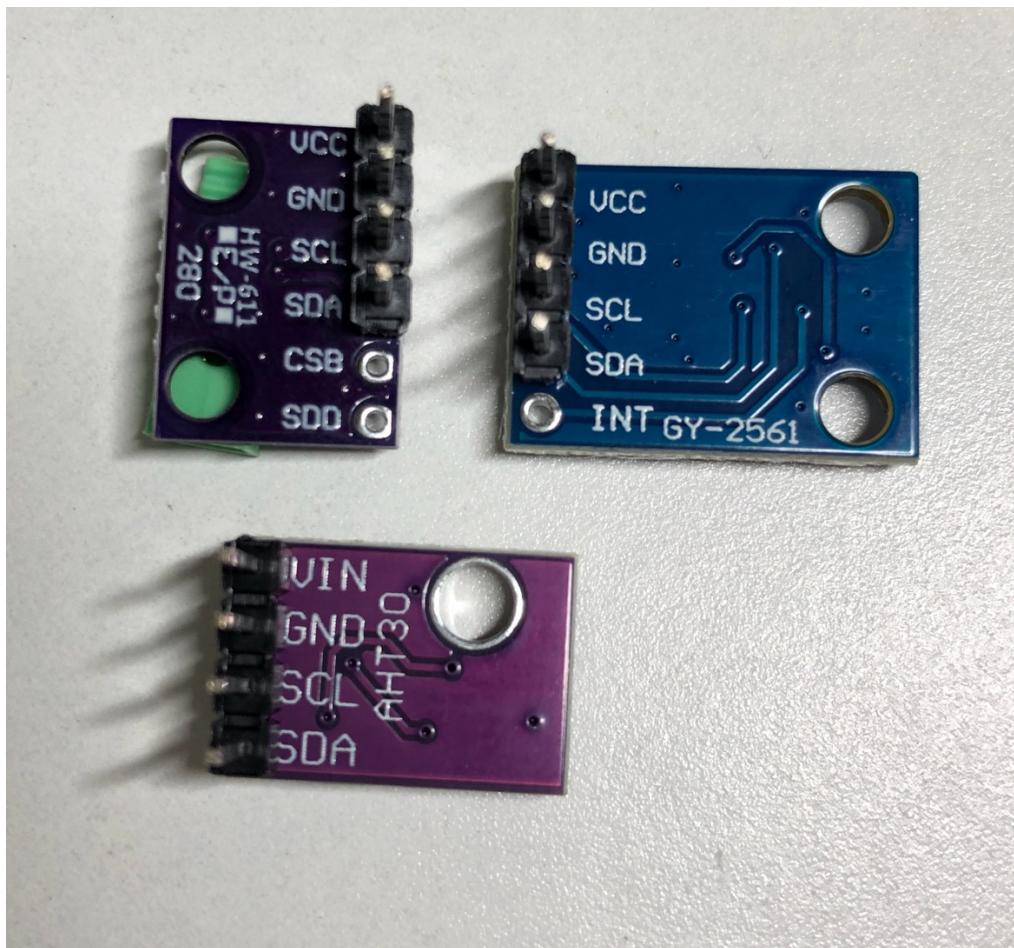


(エ) 40p ピンソケットを取り付け



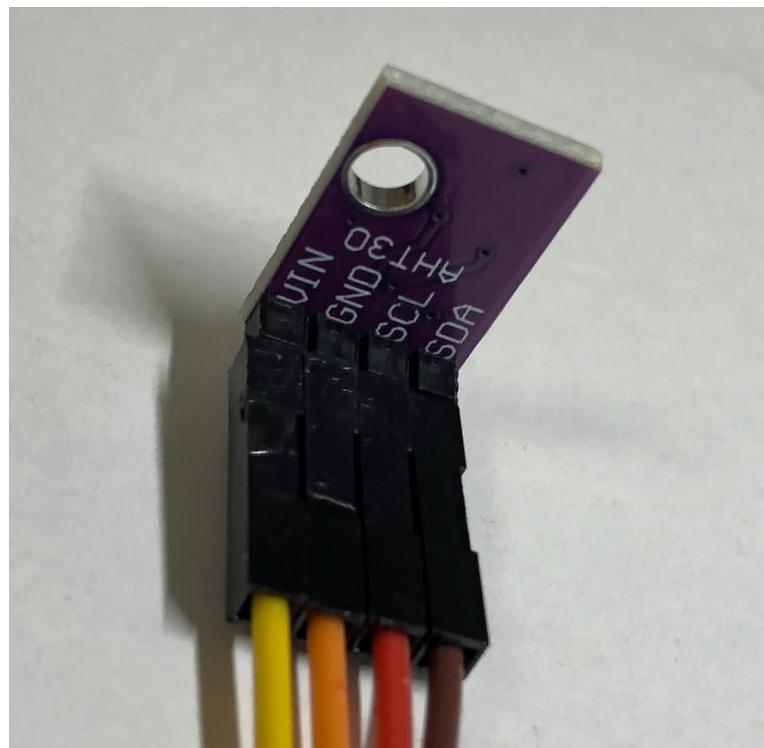
(オ) センサー類の端子付け

- ① 各センサーは VCC,GND,信号線のみ使用します。  
間違ったところにピンヘッダーを取り付けないように注意して下さい。



VCC,GND,SDA,SCL のみ取り付けます。

(力) 完成

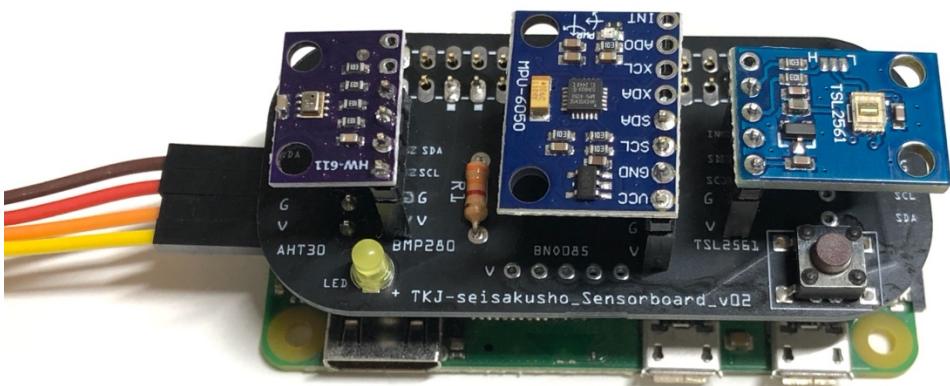


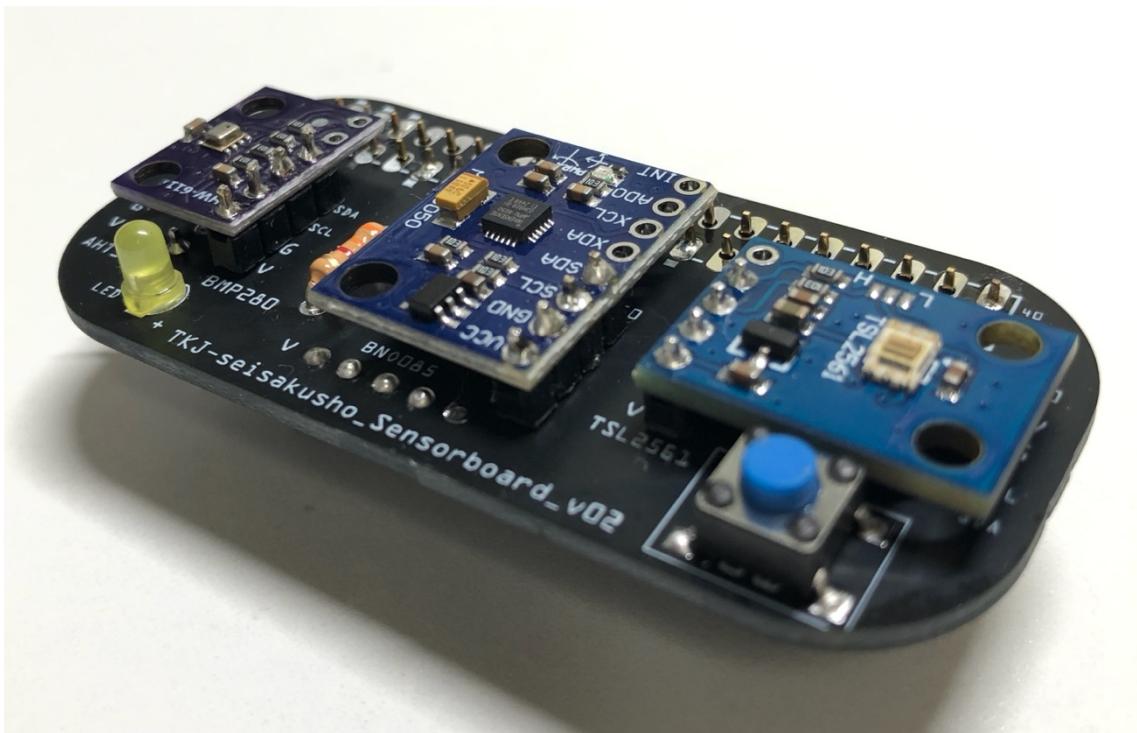
AHT30 は気温と湿度センサーです。ラズパイの発熱の影響を受けないようにケーブルで離して運用することを考えています。

## 5. 完成基板 ラズパイ 3B に装着



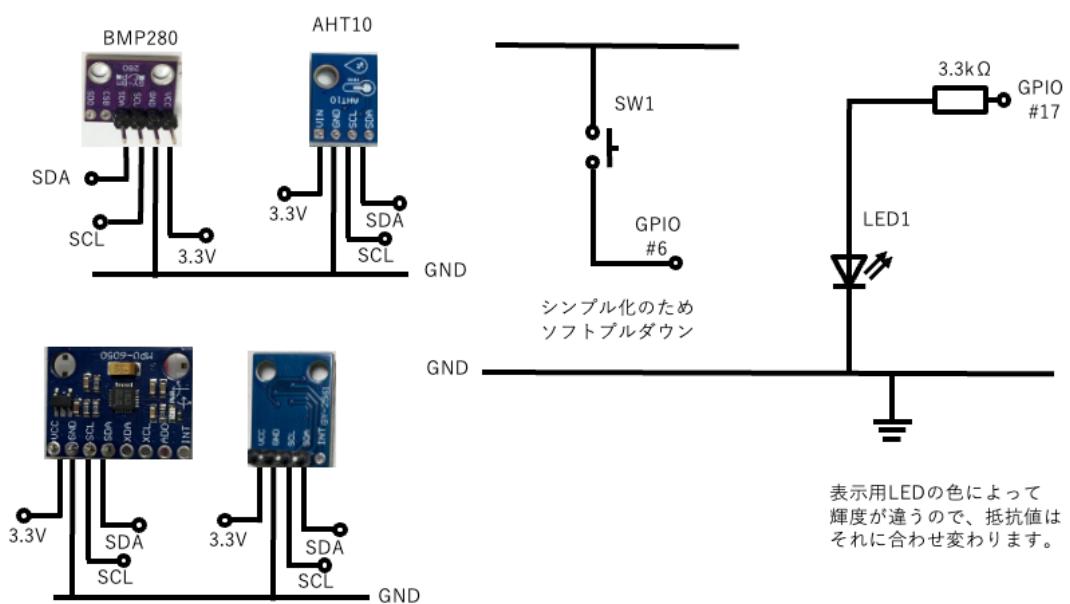
ラズパイ Zero に装着





センサーを基板直付けするとよりコンパクトにおさまります。

### 回路図



以上